

海の家で「脱・ニート」

若者自立塾 今年も出店



南知多・内海

ニート(若者無業者)の自立と就労を後押しする南知多町内海の若者自立塾「南セントレア キャリア・ビレッジ」の塾生たちが、今年も内海海水浴場で海の家を開いている。よく日焼けし、塩焼きそばを作る手さばきや「いらっしゃい」の呼び声も板についてきた。(字井章人)

猛暑の中、焼きそば作り

店頭に立つのは五、一、二十九歳の男性四人。六月に入塾した二十四人。四年目を迎えた夏

できたての焼きそばを海水浴客に手渡す塾生たち—南知多町内海で

期の海の家を七月十八日にオープンした。飲み物のほか昨夏好評だった塩焼きそばを今年も販売。新たに地元産のトマトやキュウリを冷やして売り出した。店の目的は塾生の就業体験で、利益追求は二の次。材料の仕込みから売り上げの精算まで、運営のほとんどを塾生自身が担う。客には昨夏からのリピーターや毎週注文に来る常連もいるという。

猛暑の中、頭にタオルを巻いて焼きそばを作る男性は岡崎市出身の二十七歳。二年前に県内の大学を卒業後、働かずに実家で暮らしていたが、一念発起して同塾の二期生として入塾した。男性は「売れた時や、お客さんにおいしかったと言われるとうれしい」と話す。三方目間の塾生活は残り少なくなってきたが「別働隊」が運営する。ICDSは八月下旬、九月中旬に入塾する二期生を募り、現地公開説明会を九、十の両日、南知多町内海の事務所で開催。参加無料。問い合わせは、ICDS事務局(電話0569-62)0005へ。

「い」と褐色に焼けた顔に笑みを浮かべた。若者自立塾は厚生労働省の事業。「南セントレア キャリア・ビレッジ」は、同省の委託を受けたNPO法人「ICDS」が運営する。ICDSは八月下旬、九月中旬に入塾する二期生を募り、現地公開説明会を九、十の両日、南知多町内海の事務所で開催。参加無料。問い合わせは、ICDS事務局(電話0569-62)0005へ。